

## I 事務事業基本情報

総合計画統括CD	03 10 01 01	重点政策分類	生きがい	所管部課	教育部生涯学習課
事務事業名	スポーツレクリエーション・健康運動普及事業			担当課長名	山根 一志
総合計画分類	C/D	名 称		作成者名	深田 千博
政策	03	教育・生涯学習		担当歴	平成 29 年度から
施策	10	スポーツ・レクリエーション活動の振興		電話(内線)	511
基本事業	01	身近で気軽にスポーツを楽しむことのできる場や機会の提供		事業年度	開始年度 終了(予定)年度
H29会計区分	1	一般会計		新継区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
予算科目	款	10	教育費	経費区分	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> その他
	項	6	保健体育費	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
	目	1	体育振興費		
予算書上の事務事業名	スポーツレクリエーション・健康運動普及振興経費			根拠法令・個別計画等	事業実施の根拠となる法令、条例、規則、要綱及び個別計画を全て記載 教育振興基本計画（H23～30）

## II 事務事業概要

対象	誰を、または何を対象とした事務事業なのかを具体的に記載	執行形態	事務事業の執行方法をチェック						
	市民全体（市内在住の子どもから高齢者）		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 市民と協働 (委託・交付先等：)						
目的	当該事務事業が何をねらいとし、対象をどのような状態にしたいのか。また、どのような成果を目指しているのかを具体的に記載								
	誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの紹介や機会の提供など普及活動を促進し、市民の交流や健康づくり活動の活性化につなげ、生涯スポーツの振興を図る。								
	成果指標	成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値
		「目的」がどの程度達成されたか(成果)を測定できる適切な指標(数値等)を最低1以上設定して記載							
	① ニュースポーツ用具の貸出	回	14	25	55	29	33	30	
	② ニュースポーツ講習会等への参加者数	人	233	686	638	895	1118	900	
	③								
成果指標の考え方・計算根拠等	ニュースポーツの普及状況を把握するため、ニュースポーツ用具の貸出(利用)回数と指導者育成のための講習会や普及に向けた教室への参加者数を指標とした。								
総合計画の成果指標に係る活動成果	重点政策(食・教育・生きがい・環境)については、総合計画「Ⅲ-2重点政策」(P16~P23)で定めた成果指標について記載								
手段	上記目的を達成するために、どのような方法で事務事業を実施したのかを具体的に記載								
	NPO法人伊達市体育協会やスポーツ推進委員等と連携して、各種講習会・教室等を実施し、指導者の育成や普及を図った。								
	活動実績	活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績見込)	30年度目標値
		「手段」として提供した行政サービスや活動の実績を指標(数値等)に表して記載							
	1 ニュースポーツ用具の整備(購入)	種	1	1	1	3	0	3	
	2 ニュースポーツ講習会等の開催	回	14	28	21	43	50	45	
	3								
活動指標の考え方・計算根拠等	ニュースポーツを普及させるため、指導者養成のための講習会、市民大会及び大会開催に向けた講習会の開催回数を指標とした。								
事務事業の現状と課題	事業の現状と事業を進めていくうえで課題となっていた事項を記載								
	これまでの取り組みによって、フロアカーリングのように大会の開催や協会の設立に至っている種目もあるが、未だ知名度が低い種目があるため、今後も指導者の育成、教室・大会の開催などの普及活動が必要である。								
改善点	上記の現状と課題に対し、当該年度の重点取組事項、設定した目標を具体的に記載								
	ニュースポーツ全般の大会開催に向けた講習会を開催し、市民の交流や健康づくり活動の活性化につなげる。								
	上記の重点的取組事項、設定した目標に対する改善内容及び検討(実施)中の改善内容及び当該年度を記載								
	改善点	(平成29又は30年度) 既に改善済	<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 投入経費 <input type="checkbox"/> 人員の配置 <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民全体への普及促進に向け、各種ニュースポーツの講習会を開催した。					
(平成30年度) 改善を検討中(又は実施中)		<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 投入経費 <input type="checkbox"/> 人員の配置 <input checked="" type="checkbox"/> その他	ファミリーバドミントンの更なる普及に向け、スポーツ推進委員、体育協会と検討中。						

平成 29 年度実施事業

総合計画統括CD	03	10	01	01	重点政策分類	生きがい
事務事業名	スポーツレクリエーション・健康運動普及事業				CD	01

所管部課	教育部生涯学習課
担当課長名	山根 一志
作成者名	深田 千博

### Ⅲ 投入経費 (input)

投入経費 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
<b>直接事業費 (A)</b> 千円	44千円	140千円	116千円	111千円		200千円
国・道支出金 千円						
地方債 千円						
その他特財 千円						
一般財源 千円	44千円	140千円	116千円	111千円		200千円
<b>参考人件費 (B)</b> 千円	646千円	665千円	695千円	708千円	723千円	739千円
一般職員 千円	55千円	58千円	58千円	57千円	57千円	58千円
一人当たり年間平均給与 千円	5,481千円	5,821千円	5,794千円	5,733千円	5,673千円	5,835千円
投入人員 人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
嘱託職員 千円	591千円	607千円	638千円	651千円	666千円	681千円
一人当たり年間平均賃金 千円	2,365千円	2,428千円	2,550千円	2,602千円	2,664千円	2,722千円
投入人員 人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
臨時職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円	1,671千円	1,674千円	1,704千円	1,734千円	1,759千円	1,810千円
投入人員 人						
<b>投入経費 C=(A+B)</b> 千円	690千円	805千円	811千円	819千円	723千円	939千円
<b>人件費比率 D=(B/C)</b> %	93.6%	82.6%	85.7%	86.4%	100.0%	78.7%

### Ⅳ 一次評価

評価の視点	評価	判断理由 (左記の評価を選択した理由を具体的に記載)
観 点 別 評 価	<b>目的妥当性</b> <input type="checkbox"/> 今後も市が主体または関与して事務事業を行っていくことは妥当か？ <input type="checkbox"/> 法律等で義務付けられている <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	(法律等名称: ) 高齢者の介護予防としても有効であり、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの普及は必要である。
	<b>有効性①</b> 成果が出ているか？ <input type="checkbox"/> 目標とする成果が出ている <input checked="" type="checkbox"/> 少し成果が出ている <input type="checkbox"/> 思うように成果が出ない	講習会等の開催継続やスポーツ推進委員等による研修活動などにより、地域での健康づくりにニュースポーツが活用される事例が表れてきている。
	<b>有効性②</b> 成果を向上させることはできるか？ <input type="checkbox"/> 大きく向上できる <input checked="" type="checkbox"/> 向上できる <input type="checkbox"/> 向上は難しい	ニュースポーツは多種多様にあり、より興味を引き、気軽に楽しめる種目を選定していくとともに、指導者の育成と講習会・教室等の実施を推進していくことで、地域への普及を図ることができる。
	<b>効率性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 経費削減は可能 <input type="checkbox"/> 経費削減は難しい	ニュースポーツは多種多様にあり、また、新たに開発される種目もあるため、一概に経費削減は難しいが、他団体保有の用具の貸出しを受けるなど地域内での用具整備状況によっては経費削減は可能。
	<b>公平性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 事業が一部受益者に偏っていないか？受益と負担のバランスは妥当か？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	用具は各種団体やサークルのほか、個人希望者にも貸し出しており、また、大会を含めた講習会や教室への参加案内は広報や自治会回覧等により周知している。

今後の方向性	方向性の判断理由 (左記の方向性を選択した理由を具体的に記載)
<b>総合一次評価</b> <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	これまでの普及活動により、フロアカーリングやファミリーバドミントンのようにサークル等の組織や大会が開催され、普及の兆しが見られている。今後も、更なる市民の交流や健康づくり活動の活性化につなげるため、スポーツ推進委員や体育協会、地域体育振興会等と連携し、より多くの市民に楽しんでいただけるよう大会の開催や初心者講習会を開催することで、スポーツレクリエーション・健康運動普及と振興を図られると判断した。

担当課長コメント	事業の進捗状況及び今後の展望等について記載
	ニュースポーツやレクリエーションは、楽しみながら健康づくりや仲間づくりができるものとして有効なものである。スポーツ推進委員や体育協会等と連携し、市民の方々が楽しみながらスポーツできる機会を増やしたいと考えている。また、ふまねっとは高齢者の介護予防として極めて有効なものであることから、指導者養成を中心とした普及促進に引き続き努力していきたい。

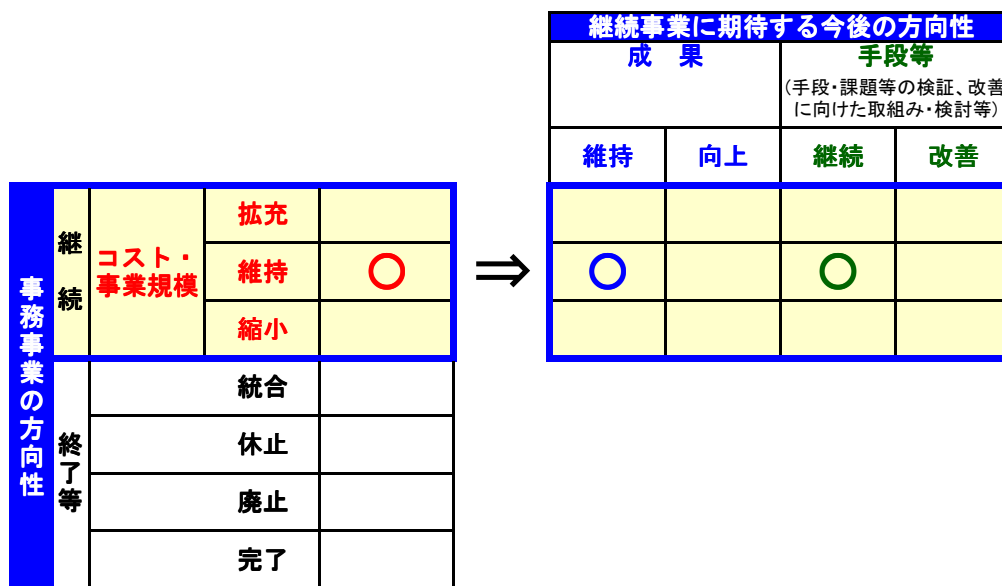
◆ 事務事業評価会議の検討内容

平成 29 年度実施事業		総合計画統括CD		03	10	01	01	重点政策分類	生きがい	所管部課	教育部生涯学習課
事務事業名	スポーツレクリエーション・健康運動普及事業							事業CD	01	担当課長名	山根 一志
										作成者名	深田 千博

1 二次評価

評価項目	評価の視点			評価
	評価の凡例	評価項目の求める水準を達成している。	○	
観点別再評価	目的妥当性	今後も市が主体、または関与して実施することが妥当である。		○
	有効性①	成果が出ている。または、事務事業の目的が達成されている。		○
	有効性②	評価の凡例	今後、成果を向上することができる。または、成果を向上させる余地がある。	○
			大きく向上できる	○
	向上を期待できる	△		
効率性	妥当な経費で事業を執行している。		○	
公平性	受益と負担のバランスは適当である。		○	
事業ランク評価	総合計画上の視点	総合計画における当該事業の位置付けが明確であり、かつ本計画の施策の推進に貢献度が高いと認められる。		○
	事業の必要性の視点	既に明らかとなっている課題や、今後予想される課題の解消に向けて、当該事業の必要性が真に認められる。		○
	事業効果の検証の視点	事業の効果が客観的に検証されている。または、事業の効果が現れていない場合にあっては、その原因を分析し、有効な方策が検討または実行されている。		○

2 二次評価に基づき期待する今後の事務事業の方向性



3 その他（特記事項・評価に関する補足事項等）

誰もが楽しみながら気軽に健康づくりや仲間づくりが行える本事業は重要な役割を持つものと考えます。今後もより多くの市民に楽しんでいただけるよう、ニュースポーツの紹介や機会の提供など普及活動を促進し、市民の交流や健康づくり活動の活性化につながるような取組を期待します。